

様式第1号(第5条関係)

会議概要

会議の名称	令和6年度第2回久喜市社会教育委員会議
開催年月日	令和6年11月12日(火)
開始・終了時刻	午前10時から 午前11時5分
開催場所	鷲宮行政センター5階 生涯学習施設「まなびすと教室」
議長氏名	久喜市社会教育委員長 折原憲司
出席委員(者)氏名	枝重雄、小尾克人、折原憲司、桐原宏、佐伯慶子、佐藤敏江、島田博、杉村榮一、高橋久江、塚本烈史、坪井文夫、寺方克彦、林成光、布施昌美、三根和、山川美智子、吉岡静子、渡辺龍二
欠席委員(者)氏名	齊藤清夏、杉山重美
説明者の職氏名	鈴木亮生涯学習課係長、飯野純子指導課長、飯塚順一スポーツ振興課長
事務局職員職氏名	田中正行生涯学習課主幹、野間口研道生涯学習課主幹、富澤均仁公民館事業推進室長、飯野純子指導課長、齋藤英行文化振興課長、飯塚順一スポーツ振興課長、鈴木亮生涯学習課係長
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 令和6年度生涯学習関係事業中間報告について 4 その他 5 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 令和6年度生涯学習関係事業中間報告書(令和6年9月30日現在)</li> <li>・ 【質問への回答】令和6年度生涯学習関係事業中間報告書</li> </ul>
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人数	0人

審議会等会議録

発 言 者・会 議 の て ん 末 ・ 概 要

司会（田中主幹）

皆様、おはようございます。定刻となりましたので、ただ今から令和6年度第2回久喜市社会教育委員会議を開会いたします。

本日は、公私とも大変お忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、生涯学習課の田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事に入ります前に、会議の公開等についてご説明させていただきます。

久喜市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき、審議会等の会議は原則公開とさせていただきます。公開の会議につきましては、傍聴の希望者がいれば認めることとしております。なお、本日の傍聴者は今のところおりません。

次に、会議録の作成についてでございます。会議録は、概ね1か月以内に公文書館閲覧室への配架及び市ホームページで公開することとしており、会議録作成のため、録音をさせていただきます。

発言の際にはマイクを使用させていただきますようご協力をお願いします。

事務局職員が発言する方のもとにマイクをお持ちしますので、発言はマイクが到着するまでお待ちください。

なお、会議録の作成形式は全文記録とし、会議録の確認及び署名については、委員長及び委員長が指名する委員1名に会議録の署名いただき、会議録を公開いたします。

次に、本日の出席委員でございますが、委員定数20人のうち18人でございます。

次に、会議資料の確認をさせていただきます。

事前に送付しました令和6年度生涯学習関係事業中間報告書、また、本日の配布資料として、次第、【質問への回答】令和6年度生涯学習関係事業中間報告書でございます。

資料に不足はございませんでしょうか。

(資料不足の声なし)

それでは、お手元の次第に基づき会議を進めさせていただきます。

はじめに、折原委員長よりごあいさつをいただきたいと存じます。

折原委員長

あらためまして、皆様、おはようございます。小春日和の秋晴れ、秋がやっとやってきた、今日はそんな素晴らしい一日になりました。前回の第1回の会議、大変お世話になりました。社会教育委員定例会議では、200を超える事業を確認します。そのために会議のための会議になりかねません。20名の社会教育委員のそれぞれの力をいかに発揮し、互いに磨きあうために、昨年度までの歴史を引き継ぎ社会教育委員協議会を設け、第1回目の協議会を9月に開催しました。原則や指針によって透明性のあるガバナンスコードに基づき、適切な組織統治を保ち、工程や取組みが外部からでも明確にわかるためのガバナンスコードは整えるだけでなく、守られていきます。学ぶ、いかす、つなぐ、そして支えあう、この4つの基本目標に対してそれぞれ3つの施策があります。私たちでその工程や取組みの成果を確認していきながら、より良い生涯学習、社会教育の推進に臨んでいこうと思います。

年3回だけの定例会議、それだけでは見識の高い皆様が臨むには大変もったいない。対面の機会を増やししながら、互いに理解しあう場として定例会議の他に社会教育委員協議会があります。多くの方にぜひ参加していただきたいと思います。ダイヤはダイヤでしか磨くことはできないと言われております。人も人でしか磨くことはできないと信じております。昨今の報道では、国内も国外も政治がなかなか定まっていないと感じております。本日お集まりいただいた皆様には、未来はどうかという評論ではなく、主体者として未来をどうするかという社会教育実践者同志が互いに課題や成果進捗を共有できる1日にさせていただきますようお願いします。我が国日本はSDGsのゴールとして「4. 質の高い教育をみんなに」が、世界でも高い評価をいただいていると認識しております。「みんなに」のみんなとは、すべての子どもたちがたとえどんな家庭環境であってもという意味と更に社会教育にあるあらゆる年代未就学児も高齢者ものみんなが含まれております。ふるさと久喜市の社会教育委員として、生涯学習につい

て、社会教育について、ぜひ忌憚のない貴重なご意見を賜りたく、本日もよろしくお願ひします。

田中主幹

ありがとうございました。

続きまして、柿沼教育長よりあいさつを申し上げます。

柿沼教育長

皆様、おはようございます。本日は公私ともにお忙しい中、令和6年度第2回久喜市社会教育委員会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、折原委員長はじめ委員の皆様方には、日頃から本市の教育行政、特に社会教育の推進に格別のご理解とご協力をいただいておりますことに、重ねて御礼を申し上げます。

さて、久喜市ではご案内のように、市民の手による生涯学習のまちづくりを推進しており、たくさんの活動がありました。

文化祭をはじめ、文化活動の発表会、あるいはスポーツ大会、体育祭が各地で行われました。また11月3日には、本市が誇ります吹奏楽フェスティバルが久喜総合文化会館大ホールで盛大に開催されました。

ところで、久喜市には非常にたくさんの事業がありますが、なかでも、放課後子ども教室ゆうゆうプラザが、平成17年に全国に先駆けて設置をされました。

子どもたちの安全な居場所づくり、豊かな体験をしようと、この事業が始まったわけであります。そして、今年がちょうど20周年に当たるということでございまして、市内ゆうゆうプラザの実行委員の皆様のご尽力により、ゆうゆうプラザフェスティバルが各地で開催をされております。10月19日土曜日のゆうゆうプラザinせんぜん館を皮切りに11月30日のゆうゆうプラザin太東学園まで、全7回のイベントが開催されます。

ゆうゆうプラザには、たくさんの実行委員、またサポーターの皆様にご協力をいただいておりますが、委員の皆様の中にも、ゆうゆうプラザに長く携わっていただいている方もたくさんいらっしゃるわけでございます。引き続き、子どもたちの健やかな成長のために、

お力添えをいただきますことをお願い申し上げます。

結びになります。ご参会の皆様方のご健勝とご多幸、そして本日の会議が実り多いものとなりますことを祈念申し上げます、私のあいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

田中主幹

ありがとうございました。

なお、柿沼教育長につきましては、この後別の公務がございますので、退席させていただきますと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは議事に入らせていただきます。

議事の進行につきましては、久喜市社会教育委員に関する規則第3条第3項の規定により、折原委員長をお願いしたいと存じます。

折原委員長

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。皆様のご協力をあらためてお願い申し上げます。

会議に入る前に、会議録の署名について、指名させていただきます。会議録の署名は、桐原委員をお願いします。よろしいでしょうか。

桐原委員

はい。

折原委員長

ありがとうございます。それでは議事に入らせていただきます。

はじめに、令和6年度生涯学習関係事業中間報告でございます。

質問のある方は事務局にメールで事前に質問をお寄せいただいておりますので、事務局から説明をお願いいたします。

鈴木係長

生涯学習課の鈴木と申します。

それでは、議事の令和6年度生涯学習関係事業中間報告について、ご説明をさせていただきます。着座にて失礼いたします。事前にお配りしております令和6年度生涯学習関係事業中間報告書と、本日お配りしました左上に【質問への回答】令和6年度生涯学習関係事業中間報告書と書かれている資料の2点をご用意いただければと存じます。

令和6年度生涯学習関係事業中間報告書については、委員の皆様に郵送でお配りし、事前に質問を受け付けさせていただきました。

いただきました質問を一覧にまとめたものが、本日お配りしております【質問への回答】令和6年度生涯学習関係事業中間報告書と書かれている資料です。

2ページ目、裏面の連番が16番のくき検定、47番のふれあいスポレクフェスタの2事業につきましては、指導課長、スポーツ振興課長から説明させていただきます。そのほかの事業につきましては、私からご説明をさせていただきます。

それでは、連番の1番、ママ・パパ教室です。

なお、本日お配りした資料には、質問と回答のみ記載していることから事前にお配りした資料と照らし合わせてください。

令和6年度4月から9月まで7回分の参加者数を知りたいという質問でした。参加者数は、計110名、内訳として妊婦の方が57名、夫が53名と回答がありました。

続きまして、連番の2番、久喜市ママパパ支援動画について、昨年度に歯磨きテクニックを配信したとあるが、今年度に配信した具体的なテーマは何か、それぞれのテーマの閲覧回数、再生回数はとの質問です。

5種類の動画を配信しているのですが、今年度4月から9月に新たに配信した動画はないという回答でございました。4月から9月までの5つの動画の再生回数は資料のとおりです。

続きまして、連番の7番、遊びの広場、ふれあい遊び、園庭開放、子育て支援課の事業になります。菖蒲地区では以前からこの事業に取り組んでいなかった、今後、久喜、栗橋、鷺宮のほか、本事業を菖蒲地区でも取り組みをお願いしたいという質問です。

菖蒲地区に公設の地域子育て支援センターは設置していない、ただし私立の地域子育て支援

センターが2施設ございまして、そちらでふれあい遊びを重点的に取り組む事業として実施されていると回答をいただいております。

続きまして、連番の8番、市長と子どもたちとのオンラインミーティング、シティセールス課の事業になります。

質問が、4月から9月に4校で実施した具体的な期日と参加者数、その中で出た具体的な意見があれば数件ご紹介願いますとのこと。栗橋西中学校、鷲宮東中学校、久喜東中学校、栗橋小学校の4校で、それぞれ実施しました。なお、期日、参加人数は資料のとおりですが、この数字は実際に市長と意見交換を行った人数になります。意見交換の様子は、校内のすべての教室でライブ配信されたとのこと。

また、学校で使われなくなったプールを別の用途で利用できないか、市長が目指す久喜市はどのようなものか、校舎の老朽化が進んでいるが新しい危険箇所が出ないためにどのように取り組んでいるか、久喜市の強みと今後PRしていきたいことを教えてほしいといった意見が生徒から挙がったということで、当日の様子につきましては、市ホームページに掲載、公開しているとのことです。ご確認いただければと存じます。

続きまして、連番の10番、子ども自然観察会です。

質問が、10月10日開催の参加者数と4地区の内訳はということ。回答は大人12人、子ども13人、合計25人が参加したとのこと。定員は30人で、市内全域を対象としており、特に住所と地区の把握はしていないため、地区の内訳は不明との回答になります。

続きまして、連番の11番、青少年健全育成事業、こども育成課の事業になります。

青少年育成団体8団体の具体的な名称、それぞれの活動補助金額、活動報告書はどこで閲覧ができるのかという3つの質問です。具体的な名称と活動補助金額は、資料にあるとおりです。

なお、現在1団体は精算済みとなっておりますが、補助金を概算払いし、事業が終わりましたら精算となりますので、あくまで現在の概算払いの額になります。

また、活動報告書はございませんが、事業完了後の精算時に、当該年度に係る実績報告書、決算資料といったものが担当課に提出されています。個人情報を含むため、閲覧には供していませんが、提出書類は各担当課で保存しています。

では、裏面の連番の12番、児童館の催し・イベントの拡充、こども育成課の事業です。

質問をいろいろいただいて、応募受付方法、活動報告書の閲覧、活動の曜日、目的が小学生の居場所づくりとした場合に、ゆうゆうプラザ、放課後子ども教室との連絡、調整がなされているのか、本年度しょうぶ会館事業の実施予定がないが、こども育成課で、児童センター、鷲宮児童館のほかに、しょうぶ会館でもこの事業を実施されてはいかがかといった質問でございました。

応募受付方法ですが、基本的には申し込みは必要ないとのこと。一部の事前申し込みが必要な事業につきましては、電子申請のほか、電話や児童館の窓口で直接受け付けをしています。活動報告書はございませんが、実施した事業や参加者数の実績は、翌年度の児童館運営委員会という会議に報告をしています。

また、実施の曜日、日程についてですが、小学生の休みの日にあわせて企画をしているため、土日をメインにしているほか、夏休みや長期休暇に実施しています。

ゆうゆうプラザとの連携についてですが、ゆうゆうプラザと同様に児童館も小学生の居場所の1つとして広く親しまれており、これまでにゆうゆうプラザに限定した連絡調整を行った実績はないのですが、地域の小学校とは情報共有の機会を設け、連携を図っているとのこと。

最後に、しょうぶ会館での実施についてですが、しょうぶ会館は隣保館と児童館の両方の機能をあわせ持つ施設のため、しょうぶ会館が独自の事業を企画し、実施しています。児童館の事業は、各地区内での実施を基本としていますが、必要に応じて今後連携を検討していくとのこと。

くき検定をとばして、連番の31番、はつらつ運動教室です。

高齢者福祉課の事業になりまして、質問は過去10年における年度ごとの参加者についてです。過去10年の参加者数は資料のとおりです。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響があり、その後徐々に戻りつつある状況ではありますが、まだコロナ禍以前にまでは戻りきってない状況とのこと。

続いて連番の44番、障がい者パソコン講座です。

質問は、以前にスマホ講座やスマホ講習へ移行するとお聞きしたが、見直し、検討の具体的な状況を説明してくださいとのこと。

障がい者福祉課からの回答ですが、令和6年度に視覚障がい者を対象としたスマートフォン講

習を新規に実施する予定であるとのことでした。

ただし、パソコン講座からの移行ではなく、パソコン講座とスマホ講習会を個別の事業として実施していく予定とのことでした。

ふれあいスポレクフェスタをとばして、連番の104番、生涯学習推進大会まなびすと久喜です。

特別支援学校が参加するための調整はどのような進捗状況でしょうか、また、行政センターは車椅子での見学がしにくく、障がいがある方も参加しやすいようにサポート体制をどのようにしていくのか、といった質問でした。

生涯学習推進大会まなびすと久喜の実施は、令和7年2月2日を予定しております。現在、埼玉県立久喜特別支援学校と本大会の参加について調整を進めております。作品展示か、発表か、内容についてはまだ調整中ですが、大会に参加いただけるように進めているところでございます。

鷲宮行政センターについては、施設の広さなどの制限もございますので、参加者が多いイベント、例えば、まなびすと久喜ですと1日に大体1,300人ほどが来場するため、通路が非常に通りにくい状況になるなどの課題はございますが、参加者への声かけや誘導などサポート体制を整えまして、誰もが参加しやすい大会となるように検討を進めているところでございます。

私からは以上になります。飯野指導課長から、続けて回答します。

飯野指導課長

続きまして、連番の16番、くき検定でございます。

くき検定は、久喜市の歴史や文化自然環境等に興味を持つきっかけづくりのために実施しております。過去6回の参加者数でございますが、資料の中の回答で、平成30年度が抜けておりました。大変申し訳ございません。

平成30年度87人、平成31年度は54人、令和2年度68人、令和3年度66人、令和4年度63人、令和5年度19人となっております。令和2年度は、コロナ禍においてはオンラインで開催しました。

令和3年度以降は、予選はオンライン、決勝はモラージュ菖蒲で実施しているところでございます。令和5年度は、Webチラシでの配布に取り組みましたが周知徹底が足らず、参加者数が少し

減じていると感じております。

本年度は参加者形式で問題作成を募るなど、くき検定に何らかの形で携われるようにしているところがございます。

以上でございます。

飯塚スポーツ振興課長

それでは、ふれあいスポレクフェスタについて、スポーツ振興課から回答させていただきます。このイベントは訪問型スポーツ体験会を開催する予定ということで、うまくいけば、希望する施設への展開や将来に向けた展望をお聞かせくださいという質問をいただきました。

ご質問ありがとうございます。回答につきましては、今年12月16日に、久喜特別支援学校で開催することが決定したところでございます。今後の展望につきましては、今年度の開催結果を踏まえて検討させていただきます。

まず、前提として、イベントにつきましては、特別職の非常勤職員であるスポーツ推進委員の集まりであるスポーツ推進協議会が主催するイベントでございます。それを主とし、事務局が支援して展開している事業となっております。

このイベントにつきましては、コロナ禍からだいぶ参加者が減っているという実情がございまして、10人ちょっとの参加者が2年連続で続いています。

実際に、今まで出ていただいていた施設の関係者にお話をお伺いさせていただきますと、どうしてもなかなか外に出る機会というのが減ってしまっているという実情が見えてきたところでございます。

そのためイベントについて、主体であるスポーツ推進協議会の委員と検討させていただいたところ、やはり待っているのではなくてこちらから出張って行って、皆さんにスポーツを体験していただき、スポーツは楽しいなと思っていただくことが、まずは先決ではないかとの結論に至りまして、このような事業展開とさせていただいたところでございます。

質問をいただいたように、施設の方を希望するところに展開をして行って、待っているのではなく、そこできっかけを作っていただいてスポーツに楽しんでいただければと考えているところでございます。

以上でございます。

折原委員長

事前質問に対する回答をいただきました。ありがとうございました。

質問のある方は挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。

寺方委員

はい。

折原委員長

それでは寺方委員。

寺方委員

はい。寺方です。スポーツ振興課長から説明いただいた47番のふれあいスポレクフェスタについて、もう少し。今回は久喜特別支援学校をとりあえず対象にして、テストをするという感じだと思いますけれども、その中でほかの施設にも一応ヒアリングして、出前型を進めるとよいのではという意見なのですが。それとは別に、実は43番にフレンドシップ各種学級事業、障がい者福祉課で同じようなことをやっていて、こちらは非常に減少傾向にある。今年から今まで年1回、2回だったのを12回に増やすと聞いていて、こっちは思ったより上手いことしていない。以前も同じような内容なので、障がい者福祉課とスポーツ振興課がどのような連携を取って進めているのかとお伺いしたと思うのですが、その辺について少し補足いただければと思います。

飯塚スポーツ振興課長

はい、ご質問ありがとうございます。先ほども前提としてお話をさせていただいたとおり、ふれあいスポレクフェスタはスポーツ推進協議会への主催の事業で、あくまでも意思決定はこの協議会が行っているところでございます。それが前提であること、ご理解いただきたいと思

います。

障がい者福祉課のフレンドシップ学級の詳細を把握していないところでございますが、今後障がい者福祉課の推進する障がい者の方たちに向けたスポーツのきっかけの提供については、スポーツ振興課だけでは進めていけない部分が当然ございますので、よく連携しながら進めてまいりたいと思います。

折原委員長

障がい者福祉課は本日出席していないので、更に回答に求めるのであれば次回会議までに確認をし、公開していただきたいと思っております。寺方委員、よろしいでしょうか。

寺方委員

はい。

折原委員長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

林委員

はい。

折原委員長

林委員よろしく申し上げます。

林委員

この事前質問2の回答に関する件ですが、6番のくき検定、ホームページを見ると案外落ちている子、受からない子がいるのだなど。

この検定ですが、受かった人たちの活躍の場を提供する機会があれば、ぜひ提供してほしいし、こういう形で活躍しているという情報があれば教えていただきたいです。

思いつきで言えば、久喜のエキスパートであることを自慢する場、例えばジェイコム久喜のコミュニティチャンネルに出してもらおうとか、そんなことを推進していただいたらどうかなと思います。

飯野指導課長

ご意見ありがとうございます。くき検定は、久喜の歴史や文化に興味を持つきっかけづくりとして始まりました。

繰り返し継続して受験をなさる方が非常に多く、上級まで受かっているお子さんも増えています。委員のおっしゃるとおり、今後活躍できる場まで持っていきたいと思っています。今回、問題作成に取り組んでいただく場を設け、久喜について更に詳しく調べてみんなに知ってほしいと問題作成に携わっている委員の参加者もおりますので、また別の形で久喜に詳しいお子さんが活躍できる場を設けていきたいと考えています。

ご意見ありがとうございました。

折原委員長

はい、林委員よろしいでしょうか。

林委員

はい。

折原委員長

どうもありがとうございました。他にいかがでしょうか。

山川委員

9ページの連番46番、担当課が社会福祉協議会、今日ご担当の方はいらしていないのですが、私が思ったことを発言させていただきたいと思います。

中間報告では、地域福祉推進のためのワークショップ、令和6年度の実施はありません。

令和5年度についてどうだったのか見てみましたら、令和5年度も実施はありませんという文言が書いてありました。

令和5年度も令和6年度もやってないってということについて、私はこう思いました。

障がい者のためのワークショップをここで明記されているのでしょうかけれど、私も生涯学習推進部に在籍していますので、ワークショップはやっております。

先ほども、できるだけいろいろな方につなげていきたいということをお話していたと思いますので、障がい者のためのワークショップがここ2年ほどできてないのに、課題・今後の対策の欄が空欄なのは、もう実施しないのか、全く検討していないのか、その辺が明確でないと思いました。障がい者だけでワークショップをやるという考えではなく、考えを広げて、すでに他の人たちと交わるようなワークショップが行われていますので、そこと一緒に共催するということ、一案を提起したいと思ひまして発言いたしました。

折原委員長

はい、ありがとうございました。生涯学習課で何か回答できることはありますか。

鈴木係長

ご質問ありがとうございます。社会福祉協議会が所管している事業のため、令和5年度と令和6年度の実施がない、詳細、理由はわからないのですが、私どもの生涯学習推進計画策定時点では、事業を実施する予定ではあったのですが、何らかの事情、状況によって実施しなくなったということも考えられますので、本日いただいたご意見を社会福祉協議会にお話させていただきます。いただいたご意見が反映できるのか確認を取りたいと思います。

折原委員長

今日の意見、質問については、生涯学習課に対応いただき、次回会議までに回答するという事で山川委員よろしいでしょうか。

山川委員

はい。

折原委員長

その他、質疑のある方は挙手をお願いします。

林委員

報告全体をとおしてですが、測定項目は回数、人数、お金といった非常に重要で必要な項目だと思いましたが、事業を観察しているからこそ出た指標を収集する仕組みを得ることは非常に重要な改善点だと思います。前回の会議でも質的な測定について指摘されていますが、例えば非常に楽しくなったといった質に対する評価を吸い上げていく仕組みが確立されているのであれば、何らかの機会に共有してほしい、仕組みがないのであれば方法を確立いただければと思うのですがいかがでしょうか。

鈴木係長

はい、ご質問ありがとうございます。おっしゃるとおり、事業の質に対する評価の仕組みについて統一したものはないと思います。

ただ、各担当課において事業を実施する中で、手法の違いはありますけれども、アンケート等を実施してその事業がよかったのか悪かったのか、また、どのように変えていくのがよいのか、その事業を廃止した方がよいのか、いろいろな意見をいただくことがございます。

各担当課における事業も、前例踏襲での実施のみならず、アンケートによる参加者の意見などで事業内容の善し悪し等の判断をし、更により事業となるよう担当課が判断しています。また、担当部署ごとに事業の見直しを適宜行い、新規事業の開始や既存事業の廃止を実施しています。

折原委員長

はい、林委員をお願いします。

林委員

現場では改善をしていると思うので、その重要な改善項目が今後見えるようにしていただくようお願いいたします。

折原委員長

それでは、ここで、この議事を終了させていただきます。

皆様の貴重なご意見、ありがとうございました。それでは進行を司会と交代させていただきます。

田中主幹

折原委員長ありがとうございました。それでは、その他でございます。事務局から1点ございます。

(事務局から事務連絡)

田中主幹

それでは、長時間にわたりご協議いただきありがとうございました。

閉会にあたりまして、佐伯副委員長よりごあいさつをお願いしたいと存じます。

佐伯副委員長

本日は限られたお時間の中ではございましたが、たくさんご協議いただきましてありがとうございました。

今朝、娘、息子を6時に鷺宮駅に送った際、駅のイチョウがやっと黄色く色づいているのに気づきました。今年は気温の高い日が続いておりましたので、紅葉を楽しむ間もなく年末を迎えそうです。年内のこの会議も今日で最後となります。少し早いですが、社会教育委員の皆様、生涯学習課の皆様、大変お世話になり、感謝申し上げます。お体をご自愛いただくとともに、来年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。良いお年をお迎えください。

また新年、お会いできます日を楽しみにしております。ありがとうございました。

司会（田中主幹）

ありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度第2回久喜市社会教育委員会議を終了とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和6年12月5日

委員長 折原 憲司

委員 桐原 宏

(注)特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。